

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	1468	(H.29)No.	1468
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ふるさと学習「なばり学」創設事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	462901
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	ふるさと学習「なばり学」創設事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	ふるさと学習「なばり学」創設事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト	2. 若者定住促進プロジェクト		

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
義務教育の9年間を通して、子どもたちが名張市の自然や歴史、産業・伝統・文化、人から生き方を学ぶことで、ふるさとへの愛着と、それらを引き継いでいく一人であるという意識の醸成を行います。
事業内容
これまで、小学校3・4年生の地域教材の中核を担ってきた社会科副読本「わたしたちの名張市」によって郷土を愛する意識の醸成を行ってきましたが、今後は名張市まち・ひと・しごと創生総合戦略や第二次名張市子ども教育ビジョンに掲げられたふるさと学習「なばり学」推進に向けて、新たな視点での学習資料集づくりが必要です。小学校1年生から小学校4年生までの前期は学習資料集上巻を使って試行するとともに、小学校5年生から中学校3年生までの後期分の学習資料集下巻作成を目指します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと学習「なばり学」編集委員会を開催(3回)し、なばり学実施要領、スタンダードカリキュラムを作成した。</li> <li>学習資料集上巻の校正作業を行い、小1～小4までの前期分を印刷製本、配付した。</li> <li>研修会を開催し、教職員や保護者、地域の方に、内容の周知と理解を図った。(3回)</li> <li>授業プランや映像資料の作成、ゲストティーチャー養成やスクールバス活用による現地での学習機会の確保を検討した。</li> <li>先進地視察(1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと学習「なばり学」編集委員会開催</li> <li>学習資料集下巻の編集、印刷製本(小5～中3までの後期分)に向けての校正作業</li> <li>実施説明会及び、ゲストティーチャー研修会開催</li> <li>学習資料集上巻を活用して授業開始(小学校1年生～4年生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと学習「なばり学」担当者会開催</li> <li>学習資料集増刷に向けての改訂作業の検討</li> <li>研修会開催</li> <li>学習資料集下巻を活用して授業開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内全小中学校にて、ふるさと学習「なばり学」本格実施</li> <li>学習資料集増刷に向けての改訂作業の検討</li> </ul>

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		2,104千円		3,000千円	862千円	862千円	862千円
内訳(千円)	国・県支出金		1,008	1,500	0	0	
	地方債						
	その他( )						
	一般財源	0	1,096	0	1,500	862	862
人工数	職員		0.22人	0.33人	0.33人	0.33人	0.33人
	臨時職員等		0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
②概算人件費	0千円	1,664千円	0千円	2,478千円	2,478千円	2,478千円	2,478千円
①+②総事業費	0千円	3,768千円	0千円	5,478千円	3,340千円	3,340千円	3,340千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
第二次名張市子ども教育ビジョンの実現に向けた平成28年度からの事業です。義務教育の9年間を通して活用できる学習資料集を作成し、名張を愛し、地域の中で自ら課題を見つけ、解決していこうとする子どもを育てます。市民総活躍による『なばり元気のもとづくり』プロジェクトの一部として、国の地方創生推進交付金を財源に平成30年度までの3年間で、学習資料集上下巻の作成を目指します。平成29年度は、学習資料集上巻を作成することができました。子どもたちの生きる力の育成と地域の担い手づくりに貢献しています。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
学習資料集作成にあたっては、教職員と地域づくり組織、民間事業者等と連携・協働しながら、子どもたちの学習に活用できる学習資料集となるよう、内容を十分検討する必要があります。学習資料集作成とともに、指導者育成研修会の開催や教材開発等の支援を継続し、より効果的な活用方や後期分のカリキュラムについて検討する必要があります。	
	第二次名張市子ども教育ビジョン ばりっすくすく計画(第3次)